

HotFix Alert 通常版

以下はサンプルです。実際のイメージは、ホームページをご参照ください。

HotFix Report UpdateEXPERTユーザーのための最新HotFix情報サービス
UpdateEXPERTのデータベースに下記の修正プログラムが登録されました。対応製品をご使用の方は、修正プログラムの適用をご検討ください。
【登録日】2003/05/08 【更新日】2003/05/08

MS03-017 / 817787
Windows Media Playerのスキン ダウンロード処理の脆弱性により、不正なプログラムが実行される可能性
(Windows Media Player スキン ダウンロードの問題により、コードが実行される)

対応策
修正プログラムの適用作業を至急開始してください。

概要
Windows Media Player 7.1および Windows Media Player for Windows XP (UpdateEXPERT上ではMedia Player 8.0)がスキン ファイルをダウンロードする処理方法に脆弱性があり、攻撃者が任意のファイルをユーザーのコンピュータ(既知のフォルダ)に置くことを可能にします。攻撃者は、この脆弱性を悪用することで、システムを破壊するような実行プログラムを[スタートアップ]フォルダなどに置くこともできます。この場合、ユーザーが再ログインなどした段階で、悪意のあるプログラムが自動的に実行されることとなります。この脆弱性は、Windows Media Playerを利用していても、インストールされているだけで攻撃の対象となります。

攻撃を実行するためには、適当なWebサイトを用意して、スキン ファイルに偽装した悪意のあるプログラムを配置し、そこにユーザーを誘導する必要があります。さらに、悪意のあるプログラムが既知の場所に保存されるように、URLに細工を施すことも必要です。こうした仕組みのため攻撃者は、HTML形式の電子メールに悪意のあるプログラムをWindows Media Playerを使ってダウンロードするように仕掛けられたリンクを埋め込み、その電子メールをユーザーに送信して誘導しようとする可能性があります。

なお、このように仕掛けられたプログラムは、ユーザーと同じ権限で実行されます。そのため、ユーザーが管理者権限を持っているなど最悪の場合では、攻撃用プログラムはシステム ファイルの削除やハードディスクのフォーマットなどといったシステムの破壊を実行できます。

DA Lab: HotFixテストチームからのコメント
修正プログラムは、UpdateEXPERTが管理対象とするすべての適用対象プラットフォームにおいて適用テストを通過しました。

今回の脆弱性は、Windows Media Player 7.1および Windows Media Player for Windows XPのスキン ファイルのダウンロード方法に存在しますが、攻撃としては「スキン ファイルのダウンロード」に偽装してない場合も考えられます。例えば、一見すると有用そうに見えるフリーソフトウェアに偽装し、ユーザーにファイルのダウンロードを実行させる可能性もあります。このとき、偽装したフリーソフトウェアのリンク先に仕掛けを施すことで、この脆弱性を利用し、ユーザーの指定したものでないフォルダ(例えば[スタートアップ]フォルダなど)に悪意のあるプログラムを置くことができます。ユーザーは指定したフォルダ内にファイルがないことから、ダウンロードに失敗したと考えるかもしれませんが、Windows Media Playerを利用していなかったり、スキン ファイルのダウンロードを行わなかったりしても、このように脆弱性が悪用される可能性は十分にあります。Windows Media Playerは、すでにWindowsの標準機能となっていますので、すべてのコンピュータでこの修正プログラムの適用を検討してください。

対象プラットフォーム
修正プログラムを適用するには、以下の対象プラットフォームに示されているサービスパックの適用が必要となります。

影響を受けるソフトウェア	対象プラットフォーム
Media Player 7.1	Windows 98 / 98 SE / Me / 2000 + Media Player 7.1
Media Player for Windows XP (Version 8.0)	Windows XP + Media Player for Windows XP

(注意) Windows 98 / 98 SE / Meは、UpdateEXPERTのサポート対象外です。

予想適用時間

修正プログラム名	50台	100台	250台	500台
WindowsMedia71-KB817787-x86-JPN.exe (Media Player 7.1)	10分	20分	50分	1時間40分
WindowsMedia8-KB817787-x86-JPN.exe (Media Player for Windows XP)	10分	20分	50分	1時間40分

この表は、1コンソールのUpdateEXPERTで、今回の修正プログラムを適用するのにかかる時間を概算したものです。ネットワーク環境や適用するコンピュータの性能などによって適用時間は異なります。あくまでも目安としてご利用ください。

UpdateEXPERT上の表示
*Media Player 7.1
[展開ビュー] - [Media]タブに「名前: WindowsMedia71-KB817787-x86-JPN.exe」で登録
*Media Player for Windows XP
[展開ビュー] - [Media]タブに「名前: WindowsMedia8-KB817787-x86-JPN.exe」で登録

次ページへ続く

① セキュリティ ホールの危険度やマイクロソフトのセキュリティ情報へのリンクを分かりやすく一覧で表示します。必要な情報に素早くたどり着くことができます。

② どのような危険性があるのかひと目で分かるタイトルをつけます。

③概要
公開されたセキュリティホールによって、どのような攻撃が、どのプラットフォームに対して行われる危険性があるのかについて解説します。これにより、すぐに対応を行うべきか、しばらく様子を見てから対応を行うべきかの判断の参考となります。

④DA Lab: HotFixテストチームからのコメント

DA Lab: HotFixテストチームが修正プログラムの適用テストを行った結果について報告します。また、修正プログラムの解析によって分かった事柄についても解説します。例えば、修正プログラムの適用によって過去に適用した修正が戻ってしまうなど、修正プログラムの適用手順における注意事項などです。これにより、IT管理者は社内における事前テストの工数を大幅に省くことが可能になります。

⑤対象プラットフォーム
修正プログラムが対象とするプラットフォーム(WindowsやInternet Explorerなど)とサービスパックの組み合わせなどを一覧表で示します。

⑥予想適用時間
UpdateEXPERTを利用して修正プログラムを適用した場合の予想適用時間を示します。適用予想時間の長さにより、お昼休みに適用を行うのか、休日に行うのかなどの判断が可能です。適用計画の作成に役立ちます。ただし、予想適用時間はあくまでも目安です。

⑦UpdateEXPERT上の表示
UpdateEXPERTで本修正プログラムが画面上でどのように表示されるかを示します。

画面ならびに内容は、現在作成中のものです。今後、変更になる可能性があります。詳細は、<http://www.hotfix.jp> をご参照ください。

HotFix Alert 通常版(続き)

以下はサンプルです。実際のイメージは、ホームページをご参照ください。

脆弱性の内容
通常、インターネットからのファイルのダウンロードでは、一旦、ユーザーのプロファイル・フォルダの下にある¥Local Settings¥Temporary Internet Filesフォルダに保存されたのち、ユーザーが指定したフォルダへとコピーされます。ところが、Windows Media Player 7.1およびWindows Media Player for Windows XPでは、スキン ファイルを¥Program Files¥Windows Media Player¥Skinsフォルダの下にフォルダを作成し、そこに直接保存します。このとき、インターネット上のスキン ファイルの置き場所を指定したURLを検証しないことから、URLに保存先を埋め込むことができます。これにより攻撃者は、ユーザーのコンピュータ上の任意のフォルダにスキン ファイルに偽装した実行プログラムを置くことが可能です。

適用されるファイル情報
以下のファイルにバッチが適用されます。障害の発生が懸念される場合は、これらのファイルのバックアップを取ってください。

*Media Player 7.1

ファイル名	日付	バージョン	サイズ
WindowsMedia71-KB817787-x86-JPN.exe	2003/05/08	5.0.2919.6307	257,480

ファイル名	日付	バージョン	サイズ	機能
Wmplayer.exe	2003/04/17	7.10.0.3074	348,160	Windows Media Player

*Media Player for Windows XP

ファイル名	日付	バージョン	サイズ
WindowsMedia9-KB817787-x86-JPN.exe	2003/05/08	5.0.2919.6307	355,784

ファイル名	日付	バージョン	サイズ	機能
Wmplayer.exe	2003/04/11	8.0.0.4490	520,192	Windows Media Player

確認方法
修正プログラムが正しく適用されたことを確認するには、Update EXPERT上で該当する修正プログラムの「インストール ステータス アイコン」がグレーから緑色に変わったことをご確認ください。また、各クライアント上で以下のレジストリ・キーが登録されていることでも確認できます。

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Updates¥Windows Media Player¥wm817787

修正プログラム
手動で修正プログラムをインストールする場合は、以下のダウンロード先のリストで [Japanese] を選択してください。次に表示されるダウンロード ページから、Internet Explorerのバージョンを選択してダウンロードを行ってください。

*Media Player 7.1
<http://microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyId=012F143A-77D1-4F6F-9338-5A6332614532&displaylang=ja>

*Media Player for Windows XP
<http://microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyId=E311DF50-0633-4100-AB37-D7A68D51182F&displaylang=ja>

また、MS03-017の全修正プログラムは[Windows Update](#)からも適用可能です。

参考情報
Windows Media Player 9.0は、今回の脆弱性の影響を受けません。そのため、Windows Media Player 9.0にアップデートすることでも、脆弱性を回避することが可能です。ただしUpdateEXPERTでは、ユーザーごとにインストール・オプションを設定する必要があるので理由から、Windows Media Playerのメジャー・アップデートをサポートしていません。Windows Media Player 9.0へのアップデートを行う場合は、各コンピュータ上でWindows Updateなどを実行してください。

Copyright (C) 2003 Digital Advantage Corp.
このメールは、HotFix Report!にご登録いただいておりますユーザー様にお送りしています。
無断で複製・再配信などを行うことはできません。このメールに関する問い合わせ先: info@hotfix.jp

⑧脆弱性の内容

セキュリティ ホールの具体的な内容について解説します。対策や回避策を検討する際の参考になります。

⑨適用されるファイル情報

修正プログラムによって置き換えられるファイルの一覧を示します。置き換えファイルのリストは、独自に調査したものであるため、マイクロソフトが明らかにしていないファイルや、英語情報の翻訳を原因とするバージョン番号の誤記についても、正しい情報が提供できます。

⑩確認方法

修正プログラムの適用が正しく行われたかどうかを確認するための方法を解説します。UpdateEXPERTによる場合と、各コンピュータ上で手作業で家訓する方法を説明します。

⑪修正プログラム

修正プログラムの入手を行う場合のダウンロード先を解説します。社内での検証や確認作業のために、修正プログラムのインストール・モジュールを単独で入手したいなどの場合に役立つ情報です。

⑫参考情報

修正プログラムを適用せずにセキュリティ ホールを回避する方法や、修正プログラムの適用に際する注意点などを解説します。

画面ならびに内容は、現在作成中のものです。今後、変更になる可能性があります。
詳細は、<http://www.hotfix.jp> をご参照ください。